

肝炎の早期発見・早期治療の必要性を伝達  
**「知って、肝炎プロジェクト」スペシャルサポーター**  
**瀬川 瑛子氏が和歌山県を表敬訪問**

和歌山県 仁坂知事が肝炎ウイルス検査を受けると約束

肝炎は世界で5億人以上が感染していると言われており、健康に対し驚くべき損害をもたらすにも関わらず、いまだに認知度が低く、多くが診断されず治療も施されていない疾患です。肝炎総合対策推進国民運動事業「知って、肝炎プロジェクト」は、2012年より、肝炎に関する知識、肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎の正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的として実施している活動しております。

この度、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動事業の「知って、肝炎プロジェクト」（所在地：東京都港区六本木1-6-1 特別参与：杉 良太郎）のスペシャルサポーター 瀬川 瑛子氏が2016年11月9日（水）に和歌山県を表敬訪問をいたしました。

当日は、瀬川氏から「スペシャルサポーターとして、和歌山県の皆さまに肝炎ウイルス検査を知って受けていただき、さらに元気な和歌山県にさせていただきたく参りました。」と表敬訪問の目的がお話されました。それを受け、知事は「瀬川さんのような有名な方にPRしていただけると、多くの方に肝炎対策について知ってもらえる良い機会になる。」と感謝の言葉を述べられました。

その後、杉特別参与のメッセージを瀬川氏が代読すると、「和歌山県は津波や地震の点において、杉特別参与に応援していただいて、とてもお世話になっています。」と杉特別参与と和歌山県の繋がりについて知事がお話されました。瀬川氏は、杉特別参与の幅広い活躍について感心している様子でした。

知事から今回の表敬訪問が実施されるにあたり、肝炎について勉強されたことが明かされると、瀬川氏は嬉しそうな表情でお話に耳を傾けておられました。知事から「人間ドッグを受ける際に、肝炎ウイルス検査のオプションを選択し検査を受けてみたいと思います。そして、県民の皆さんにも検査を受けていただけるようアピールします。」と和歌山県で肝炎ウイルス検査の広報活動に積極的に取り組んでいくことを誓う心強いコメントを頂きました。懇談の中では、瀬川氏と知事との掛け合いの中で笑いが起こるなど終始和やかな雰囲気の中、表敬訪問は終了しました。今後も当プロジェクトでは、肝炎の知識や検査の必要性を知ってもらうことを目指し、啓発活動を行ってまいります。



## 【「知って、肝炎プロジェクト」和歌山県表敬訪問 概要】

厚生労働省では、肝炎総合対策推進国民運動「知って、肝炎プロジェクト」を立ち上げ、杉良太郎氏を同運動の特別参与に任命し、杉特別参与が芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターを任命して、肝炎対策の普及啓発を行っています。このたび、「知って、肝炎プロジェクト」は、和歌山県へ表敬訪問を実施。スペシャルサポーター 瀬川 瑛子氏が和歌山県知事 仁坂 吉伸氏を訪問し、「知って、肝炎プロジェクト」推進のメッセージ伝達を行いました。

■日時 : 平成28年11月9日(水) 14:00～14:20

■開催場所 : 和歌山県庁 3階 知事室

■出席者 :

和歌山県知事 仁坂 吉伸(にさか よしのぶ)氏

スペシャルサポーター 瀬川 瑛子(せがわ えいこ)氏

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課

肝炎対策推進室肝炎対策専門官 磯田 広史(いそだ ひろし)氏

健康局長 野尻 孝子(のじり たかこ)氏



### ■和歌山県仁坂知事コメント

医師の友人から良い薬ができ、飲み薬だけで治療ができることを聞きました。国や補助で治療ができますし、肝硬変や肝がんなどを発症するに肝炎ウイルス検査を受けて欲しいですね。健康診断や人間ドックの際に、肝炎ウイルス検査のオプションを選択して検査を受けていただきたいと思います。私もすぐに検査を受けにいきます。そして、県民の皆さんに検査を受けてもらえるよう早期発見・早期治療の大切さをPRしてまいります。



### ■瀬川 瑛子氏コメント

演歌歌手として世の中の皆さんのために何かできないかと思っている時に、番組で一緒にさせていただくことが多かった伍代さんを通して、このプロジェクトに参加させていただくことになりました。

実は私も姉が肝炎ウイルスを持っていたこともあり、そのような家族を持つ身として、素晴らしい薬ができたことを多くの方に知っていただきたいと強く思ってます。日本全国でも半数の方が検査を受けていないので、このような表敬訪問を通して検査を受けていただけるようアピールしていきたいです。和歌山県の皆さんも、自分と家族のために是非検査を受けてください。





# 「知って、肝炎プロジェクト」とは



このキャンペーンは、平成23年5月16日に策定された肝炎対策基本指針を受け、厚生労働省の肝炎対策助成金事業として開始されました。平成25年度より、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくこと目的とした「肝炎総合対策推進国民運動事業」として啓発活動を致しております。

肝炎とは何か、そしてどのように感染するのか、どのような人に危険性があるのか、そして様々な予防方法と治療法を知ってもらうことを目指します。肝炎は、健康に対し驚くべき損害をもたらすにも関わらず、いまだに認知度が低く、多くが診断されず治療も施されていないという疾患です。世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を"World Hepatitis Day"(世界肝炎デー)と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応した取組として、7月28日を日本肝炎デーと定め、国及び地方公共団体、医療団体や事業主団体等の協力を経て、肝炎の病態や知識、予防、治療に関わる正しい理解が進むよう普及啓発を行うとともに、受診勧奨を推進致します。

また、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動 特別参与 杉良太郎氏をはじめとする、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターの方々に肝炎ウイルス検査の認知向上などを目的とした広報活動をお手伝い頂いています。

